

全数報告の感染症

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: 細菌性赤痢 10 例(感染地域:大阪府 1 例、インド 4 例、ベトナム 2 例、ブラジル 1 例、パキスタン 1 例、ベトナム/カンボジア 1 例)、腸チフス 2 例(感染地域:インドネシア 1 例、疑似症 1 例)
- 3 類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 17 例(うち有症者 8 例、HUS なし)[報告の多い感染地域:千葉県 4 例、佐賀県 4 例 年齢群:10 歳未満(8 例)、10 代(3 例)、20 代(1 例)、30 代(3 例)、40 代(1 例)、60 代(1 例) 血清型・毒素型:O157 VT1・VT2 (5 例)、O157 VT2 (5 例)、O26 VT1 (5 例)、O111 VT1(1 例)、その他・不明(1 例)]
- 4 類感染症: A 型肝炎 1 例(感染地域:福岡県)、オウム病 1 例(感染源:インコ)、つつが虫病 1 例(感染地域:岐阜県)、マラリア 1 例(熱帯熱_感染地域:コンゴ民主共和国)、レジオネラ症 9 例(すべて肺炎型)[年齢群:40 代 1 例、50 代 3 例、60 代 2 例、70 代 1 例、80 代 1 例、90 代 1 例 感染地域:福岡県 2 例(ともに温泉)、宮城県 1 例、長野県 1 例、愛知県 1 例、兵庫県 1 例、熊本県 1 例、国内(都道府県不明)1 例、台湾 1 例]
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 9 例(腸管アメーバ症 8 例、腸管外アメーバ症 1 例)[感染地域:国内 6 例、インドネシア 1 例、国外(国不明)2 例 感染経路:経口 3 例、性的接触(異性間)1 例、経口/性的接触(異性間・同性間)1 例、不明 4 例]、急性脳炎 1 例(B 型インフルエンザウイルス(10 代))、クロイツフェルト・ヤコブ病 2 例(孤発性プリオン病古典型 1 例、遺伝性プリオン病家族性 1 例)、後天性免疫不全症候群 16 例(無症候 11 例、AIDS 3 例、その他 2 例)[感染地域:国内 13 例、フランス 1 例、ギニア 1 例、国内・国外不明 1 例 感染経路:性的接触 11 例(異性間 5 例、同性間 5 例、同性間/異性間 1 例)、不明 5 例]、梅毒 8 例(早期顕症 I 期 2 例、早期顕症 II 期 4 例、無症候 2 例)、破傷風 1 例(70 代)

定点把握の対象となる 5 類感染症 (週報対象のもの)

インフルエンザ:定点当たり報告数は第 2 週以降増加が続いている。都道府県別では福岡県(43.2)、三重県(40.4)、福井県(38.0)、沖縄県(32.8)、大分県(32.7)、宮崎県(32.1)、愛知県(31.7)が多い。
 小児科定点報告疾患:RS ウイルス感染症は 962 例の報告があり、第 5 週以降減少が続いている。年齢別では、1 歳以下の報告数が全体の 75%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少したが、過去 5 年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では青森県(1.02)、富山県(1.00)、山形県(0.93)、佐賀県(0.91)が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は 2 週連続で増加し、過去 5 年間の同時期と比較してもやや多い。都道府県別では富山県(6.8)、新潟県(5.0)、北海道(5.0)、鳥取県(4.8)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では徳島県(14.1)、熊本県(12.4)、宮崎県(12.3)、福井県(12.0)が多い。水痘の定点当たり報告数は減少したが、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県(5.4)、宮崎県(5.0)、和歌山県(4.8)、鹿児島県(4.8)が多い。手足口病の定点当たり報告数は減少したが、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では宮崎県(4.1)、鹿児島県(1.7)、熊本県(1.7)、佐賀県(1.7)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は 2 週連続で増加し、過去 5 年間の同時期と比較してもかなり多い。都道府県別では富山県(3.9)、石川県(1.9)、宮城県(1.6)、長野県(1.5)が多い。百日咳の定点当たり報告数は減少したが、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では徳島県(0.05)、栃木県(0.04)、岐阜県(0.04)が多い。風しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では東京都 2 例、秋田県、神奈川県、愛知県、滋賀県、大阪府、兵庫県から各 1 例の報告であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は微減した。都道府県別では山口県(0.39)、岩手県(0.23)、岡山県(0.22)が多い。麻しんの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では埼玉県から 2 例、宮城県、長野県、愛知県から各 1 例の報告であった。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では新潟県(2.1)、青森県(1.6)、宮崎県(1.6)が多い。
 基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してもかなり多い。都道府県別では沖縄県(5.6)、青森県(1.8)、佐賀県(1.5)が多い。成人麻しんは宮城県、三重県から各 1 例の報告があった。

	インフルエンザ (定点当たり)	小児科定点											眼科定点		基幹定点							
		RS ウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A 群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	成人麻しん
愛媛県	7.0	.7	.1	4.5	11.9	4.0	.2	.8	1.2			.0		.8		1.9		.2	.2			
近県	香川県	7.5	.7	.1	1.6	6.7	2.5	.2	.1	.7			.0		.5				.2			
	徳島県	9.5	1.0		1.1	14.1	2.0	.0	.5	.4	.0		.1		.2	.3						
	高知県	6.9	1.2	.1	1.5	7.0	2.5	.0	.5	.6			.1		1.2	4.0			.7			
全国	23.4	.3	.3	2.5	7.0	2.3	.3	.7	.6	.0	.0	.0	.0	.6	.0	.6	.0	.0	.5	.0	.0	
北海道	21.9	.7	.5	5.0	2.4	1.5	.1	1.1	.6			.0		.5		.2						
東北	18.9	.5	.5	2.5	5.7	1.8	.1	1.0	.5	.0	.0	.1	.0	.9	.0	.7			.8		.0	
関東	22.5	.1	.3	2.8	6.9	2.1	.2	.6	.6	.0	.0	.0	.0	.4	.0	.8	.0	.0	.4	.0		
甲信越北陸	27.0	.2	.6	3.8	7.1	2.0	.1	1.5	.6	.0	.0	.0	.0	.9	.0	.4		.0	.5	.0		
東海	26.5	.3	.3	2.0	7.2	2.0	.1	.8	.6	.0	.0	.0	.0	.5	.0	.2	.1		.7		.0	
近畿	25.5	.4	.2	1.7	6.3	2.3	.1	.5	.5	.0	.0	.0	.0	.6	.0	.4		.0	.3	.0		
中国四国	14.0	.6	.3	2.3	8.6	2.3	.2	.4	.6	.0		.1		.6	.0	.8		.0	.4	.0		
九州沖縄	29.2	.3	.3	2.0	9.3	3.8	1.5	.3	.7	.0		.1		.7	.0	1.0		.0	.7			

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。(3月8日集計) 愛媛県基幹感染症情報センター

全国 全数把握感染症 第9週 (2007.2.26 ~ 3.4)

類 型	二類感染症				三類	四類感染症															五類感染症																							
	疾病名	(2)コレラ	(3)細菌性赤痢	(5)腸チフス		(6)パラチフス	(1)腸管出血性大腸菌感染症	(1)E型肝炎	(2)ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	(3)A型肝炎	(4)エキノコックス症	(6)オウム病	(8)Q熱	(9)狂犬病	(11)コクシジオイデス症	(15)つつが虫病	(16)デング熱	(18)日本紅斑熱	(19)日本脳炎	(22)ブルセラ症	(23)発しんチフス	(24)ポツリヌス症	(25)マラリア	(26)野兔病	(27)ライム病	(29)レジオネラ症	(30)レプトスピラ症	(1)アメーバ赤痢	(2)ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3)急性脳炎	(4)クリプトスポリジウム症	(5)クロイツフェルト・ヤコブ病	(6)劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7)後天性免疫不全症候群	(8)ジアルジア症	(9)髄膜炎菌性髄膜炎	(10)先天性風しん症候群	(11)梅毒	(12)破傷風	(13)黄色ブドウ球菌感染症	(14)バンコマイシン耐性腸球菌感染症			
第9週報告数	全 国		10	2		17			1	1					1						1						9		1	2		16					8	1		1				
	四 国	愛 媛 県																																										
		香 川 県					2																																					
		徳 島 県																																										
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道																																										
		東 北 関 東		8	1		7																			1	1	4				2		6					3					
		甲 信 越 北 陸				1	2																				1	1																
		東 海 近 畿		2			2									1								1			2	2	3		1		6						3					
		中 国 四 国					2					1																							1				1					
		九 州 沖 縄					4			1																	3											1	1				1	
週 推 移	全 国		9週	10	2		17			1	1				1						1					9	9		1	2		16					8	1			1			
			8週	3			7			5	2						3					1				4	6		1	2	1	12					6	1			2			
			7週	6		1	11	1		4					1											5	6	1	1	1	14						5							
			6週	6		1	18			2						1						1				2	3	1	4	2	2	17						2	1			2		
2007年累積数	全 国	2	92	5	4	123	7		35	2	4	3		1	36	7					1	4				64	1	118	24	29	1	24	20	207	8	1		77	9		16			
	四 国	愛 媛 県					4			1																		1			1													
		香 川 県					2						3																											3				
		徳 島 県																																										
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道		1			1	1			1																	3		1		4	2							1				
		東 北 関 東	1	2	1		6			3						2						1					3	5		3		2	6					4				2		
		甲 信 越 北 陸		5	1		5			2						1											11	1	5	3	3	1	3		5					3				
		東 海 近 畿		13		2	9	2		2		1				4	1										12	13		3	1	30			1			13	2			1		
		中 国 四 国		2			27			6		1	3			4	1										6	2	4	1	6	1	8	1				11						
		九 州 沖 縄		1			29			4						10	2										7	9	2	6	2	2	12					12	5			3		

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(2007.3.8集計)